

特集

地区活動のあり方を新たな視点で

公衆衛生看護活動の使命と経緯 地区活動とは何か、なぜいま必要か ————— 錦織正子

「地区・地域」という概念の整理

住民ニーズと活動を結ぶうえで効果的な範囲とは ————— 原田正樹

エリアマネジャーとサービスマネジャーとの重層的地区活動の提案 ————— 中板育美

須坂市における保健補導員の育成支援による地域づくり

これまでとこれから ————— 浅野章子

行政保健師による地区活動の今後への期待 OJTの一環として ————— 尾崎米厚

編集後記

●気象庁が関東地方の梅雨明け宣言をした後、俗に言う「梅雨明け十日」の天気は今年は長続きせず、梅雨に逆戻り(?)したかのようにしとしと雨が降ったり、真夏の夕立のような雷雨が降ったり、30度台前半なのにやたら蒸し暑い天気になったりしている。全国的には梅雨明けになっていない地域が多く、長雨で浸水や土砂崩れなどの被害にあっている地域もある。10数年前の冷夏で、農作物の成長に影響が出て、米をタイから緊急輸入した年と同じような状態になってきているという。本号が読者の方々の目に触れるころにはどうなっているだろうか。

これは異常だと思ったのは、昨日(7月30日)のこと、地下鉄が終点に到着時に車内で座席に坐ったまま居眠りをしている人がいつもよりかなり多かったことだ。みんなこの異常な天候で身体が疲れているのだな、と思った。ところがその夜は急激に気温が下がり、昼間の熱気がウソのように涼しくなって、久しぶりに夜は冷房を止めた。風邪を引かないように工夫して、さらにインフルエンザへの対策も万全を期したいと思う日々である。(杉之尾)

●大学を卒業し、弊社に入社する直前、「社会人としてやっていけるのだろうか」という漠然とした不安を抱いていました。入社してみると、「Aさんとの人間関係」や「B先生の原稿がもらえない」という具体的に気をむす事柄は散発的にあっても、曖昧模糊な不安はなくなりました。

感染症は目に見えず広まっていくさまが過度の不安を喚起させ、無理解や理解の偏り、無関心などから過去においてはハンセン病やエイズなどに罹患した方に対して社会的な偏見や差別を生み、今も根強く残っています。

しかし、具体的な発生动向や感染防止の対策を知っておくことで、玉記論文にあったように「適切に恐れる」ことができます。負の歴史を繰り返さないためにも、冷静な対応が求められます。地域のなかで働く保健師も、住民に具体的に正確な情報を伝え、「なんとなく怖い」から「適切に恐れる」対象として新型インフルエンザをはじめとする感染症対策に臨めるように働きかけていく重要な役割を担っています。本特集がその一助となれば幸いです。

(長谷川)

保健師ジャーナル 第65巻9号 2009年9月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2009年年間購読料(税込、送料弊社負担)15,000円、電子ジャーナル閲覧オプション付20,000円

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600

保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当/杉之尾・長谷川・伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCOPY <(社)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。1348-8333/09/¥250/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示の提示をお願いいたします。